

パートナースhip制度の導入を



野村 和人 議員

問 支え合う社会の実現を目指すために、パートナースhip・ファミリースhip制度の導入が必要と考えるがどうか。

答 誰もが暮らしやすい街となるよう、令和7年度中に、全国的に事例が多いパートナースhip宣誓制度を導入していく。

20周年事業としてキリシマイスター事業推進を

問 「褒め合うまちへ」を合言葉にした、キリシマイスターの取組は、市民のまちへの愛着度を高めるためにも素晴らしい事業である。市政施行20周年事業としてさらに推進できないか。

答 幅広い世代における



キリシマイスター交換日記第2弾



動画はこちら↑

その他の質問
・子どもたちの健やかな教育環境の充実に向けて



詳しくはこちら

リチウムイオン電池の適切な回収体制の確立を



久保 史睦 議員

問 小型家電リサイクル法の認定事業者数と回収体制、回収量はどうか。

答 本市に拠点を有する事業者はない。全国60認定事業者のうち、9事業者が本市の使用済小型家電を取り扱える。現在、市内18か所に回収箱を設置している。

問 電子機器に内蔵され活用されているが、不適切な廃棄により発火、破裂や爆発の危険性が指摘されている。ゴミ収集ステーションでの分別回収体制を早急に構築すべきではないか。

答 電子機器に内蔵され活用されているが、不適切な廃棄により発火、破裂や爆発の危険性が指摘されている。ゴミ収集ステーションでの分別回収体制を早急に構築すべきではないか。



環境省作製チラシ

その他の質問
・建築基準法における道路のセットバック後の維持管理のあり方について
・サマー学童について



詳しくはこちら

山ヶ野地区の文化的・歴史的価値を後世に



塩井川 公子 議員

問 山ヶ野地区の文化的・歴史的な価値を伝えるため山ヶ野ウォーキング大会を開催し24年になる。現在は、縮小傾向にあり、今後の継続には多くの課題がある。市は同地区の価値や実行委員会の取組について、どのように評価しているか。

答 歴史的価値は非常に高く、実行委員会の取組は、その価値を後世に伝え、総務省表彰を受けるなど地域活性化に大きく寄与していると考えている。



山ヶ野ウォーキング大会で史跡を説明する中学生

問 今後の文化財の保存や継承について、本庁関係課と地域が共同し、事業継続や、さらなる魅力の発信に繋げることが必要ではないか。



詳しくはこちら

新病院の医療体制を持続するために経営強化を



宮田 竜一 議員

問 新病院は、全室個室で入院環境の質の向上や、がん・脳血管疾患・循環器疾患への対応強化、救急医療・小児医療・災害医療など、市民が高度な医療サービスを受けることができるようになった。一方、医師や看護師の増員確保、最先端医療機器の導入などの経費が増大し、赤字経営が続く見込みである。持続可能な医療体制のために策定した経営強化プランに、決算・予算と乖離が生じている理由は何か。

答 地域救命救急センターの指定要件を確認し、人員体制など基準に満たない点を把握した。今後、医師会医療センターと共に指定に向けた調整を進める。



霧島市立医師会医療センター

答 新病院に安全に患者を移転するため、入院患者数を調整した。また、医師など人件費の増加や、物価高騰なども原因である。



詳しくはこちら

牧之原パークゴルフ場のトイレの状況は



下深迫 孝二 議員

問 パークゴルフ場の年間利用状況と、トイレの和式・洋式の現状はどうか。

答 令和5年度の利用状況は3万6307人で、市内利用者が3万1229人である。トイレの数は左表のとおり。

	和式	洋式
男性用	3	3
女性用	9	6
多目的	0	4
共用（コース内仮設）	2	1

場内のトイレの数（基）

答 上下水道は塩素滅菌処理後、細菌など51項目の検査を年1回、そのうち22項目から28項目を年3回、9項目を年8回、配水区域ごとに残留塩素を毎日チェックしている。緊急点検の結果、下水道の異常はなかった。管の口径が小さいため、道路が陥没する可能性は極めて低いと考えるが、今後も適切な点検維持をしていく。

上下水道管の点検状況は

問 本市の水質検査の実施状況はどうか。また、



詳しくはこちら

保育園の繋がりを活かした入学で親子の安心を



植山 太介 議員

問 保育園等で築いた人間関係が小学校にも影響すると考える保護者もいる。進学予定の小学校区内にある保育所等にできるだけ入園できる仕組みはできないか。

答 各通りに、街路灯、防犯カメラ、イルミネーションなどの新設や修繕などを行う費用を一部補助している。今後も協力して、取組を継続する。

答 入所調整がある2号・3号認定（保育園）の子どもの入所については、保護者の希望を聴取した上で、国の基準に基づき保育の必要性を指数字化し、優先順位を付けて調整している。進学予定の小学校区内の保育所等を希望する保護者もいれば、勤務先やきょうだいの通園状況、施設理念などを理由に校区外を希望する保護者もあり、一律に校区を優先する仕組みは必要性が低いと考える。

その他の質問
・本市の自治会費のあり方について
・本市の消防団の活動資金支援について



詳しくはこちら